

村井さん「知識生かす」

製鉄記念室蘭病院(前田征洋病院長)の理学療法士、村井元さん(29)がこのほど、日本静脈経腸

栄養学会の「栄養サポートチーム専門療法士」に認定された。同病院によると、理学療法士の認定は西胆振管内では初。村井さんは「得た知識を生かして、患者さんに適度な運動と適切な栄養管理を提供できれば」と意欲を燃やす。

栄養サポートチーム(NST)は、低栄養状態の入院患者を対象に、医師や看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師など、多職種の治療スタッフが協力して、最良の栄養サポートを目指すチーム。チーム医療の要にもなる栄養サポートチ

ーム専門療法士は、NSTに関わる専門職が取得を目指す資格という。

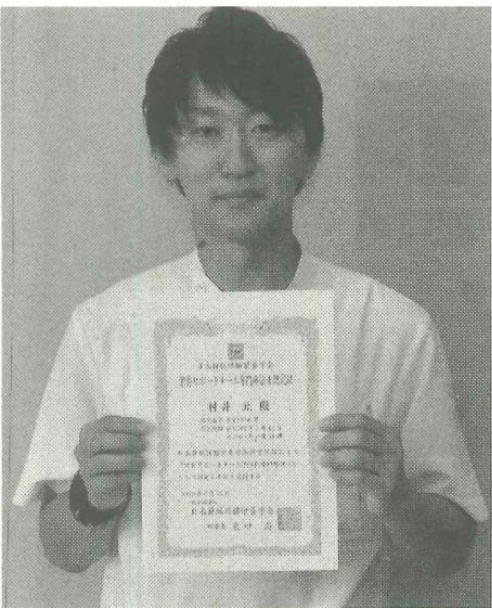
村井さんは入職8年目。長年、食べ物に気を付けてきた祖母が現在も健康で過ごしていることや、リハビリテーション栄養に関する研修会を通じて「適切な栄養管理下の運動療法がリハビリテーションの効果をさらに高めることを改めて学んだ」といい、今年2月に認定を受けた。

NSTでの理学療法士の役割について「身体機能や栄養状態、食事動作、姿勢の評価などを行い、チームに提供すること」と話す村井さん。これによって、機能改善を目指した訓練実施の可否、病棟内やりハビリでの活動

量の情報提供など「より適切なリハビリテーションの提供にもつながる」という。

村井さんは「高齢の患者さんは、栄養状態が良くないと筋力低下にもつながってしまう」とし、「栄養管理と運動療法の知識を共有し、(患者さんらに)発信していきたい」と話している。

(松岡秀宜)



日本静脈経腸栄養学会「栄養サポートチーム専門療法士」に認定された村井さん